

敬宮殿下御誕生記念の森



敬宮殿下の御誕生を記念し、平成14年5月に、那須街道沿い約1haでアカマツの苗木植樹が行われました。

記念の森の設定を契機に、翌年から毎年、那須街道赤松林で、アカマツ苗木の植樹活動が行われています。

微笑みの松



那須街道赤松林の中で、最も幹周りが大きなものが敬宮殿下御誕生記念の森の中にある「微笑みの松」(幹周り4.6m)です。

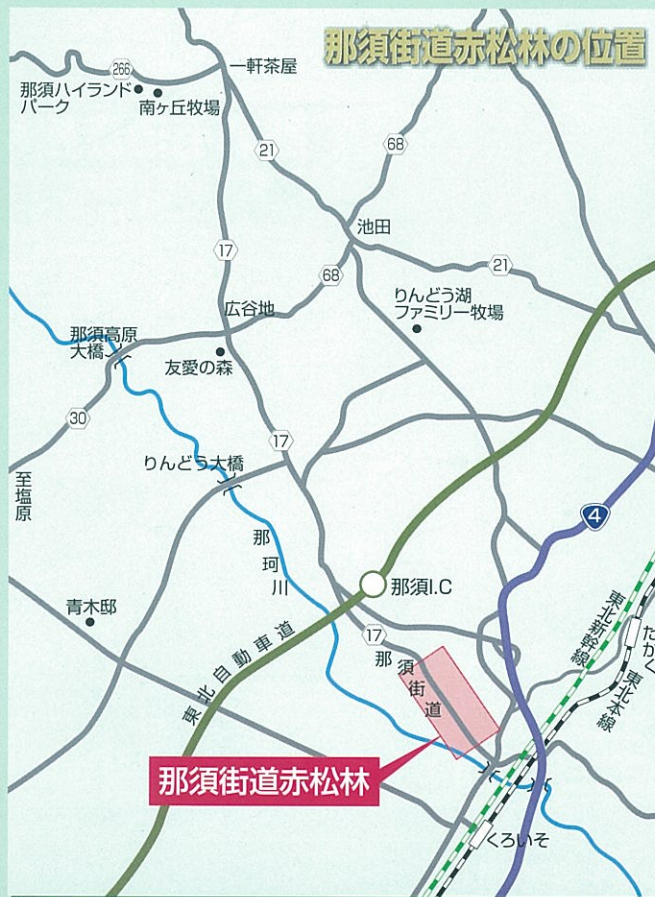
香淳皇后がこの松をご覧になり微笑まれたことが名前の由来であると言われています。

那須街道赤松林の歴史

明治34年に旧宮内省の御料林(当時165ha)となり、昭和22年に林野庁所管の国有林に所管換えされました。

戦後直後に全域の開墾が計画されましたが、那須街道沿い79haは風致の維持のため特別に残されました。

昭和天皇は、御著書「那須の植物誌」の中で、みごとなアカマツの天然林であり、国有林であったため今日まで保存されてきた、とお記しになられています。



国民の森・国有林

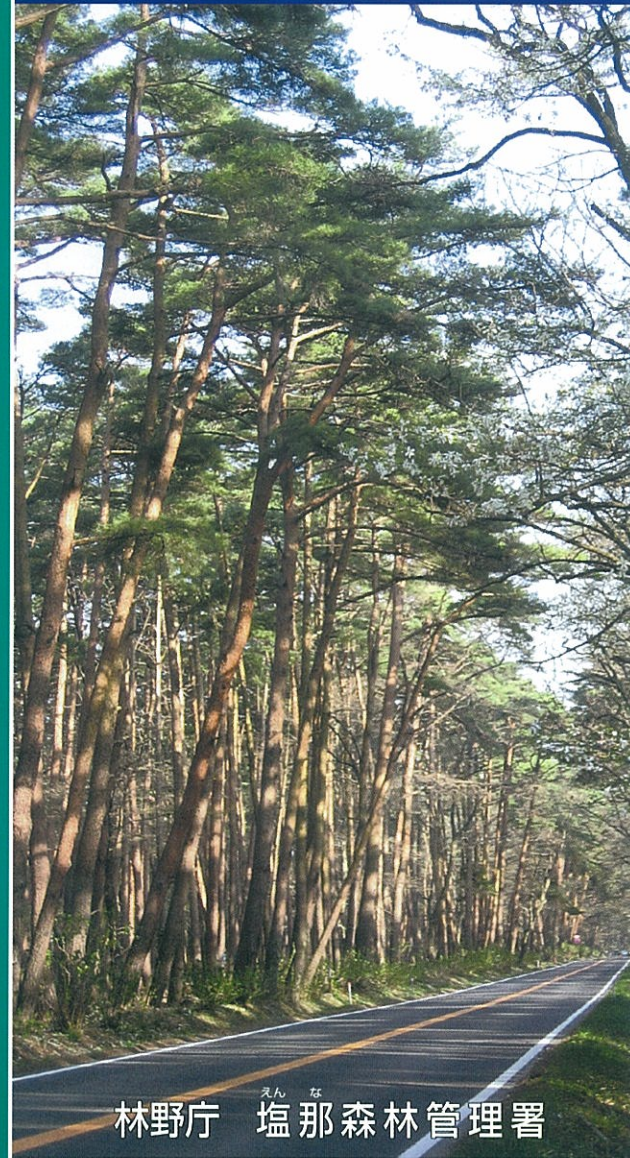
林野庁 関東森林管理局
塩那森林管理署

〒324-0022 栃木県大田原市宇田川1785-15

TEL.0287-28-3125 FAX.0287-28-3531

<http://www.kanto.kokuyurin.go.jp/enna/>

那須街道 赤松林



林野庁 塩那森林管理署

那須街道赤松林

14,000本のアカマツからなる79ha(東京ドーム17個分)の天然林で、7月初旬のヤマユリの花や12月の松葉の落ち葉さらいなど、昔ながらの日本の里山の景色を留める貴重な保護林です。

また、道路と一体となって成立・管理されている全国的にも珍しい森林で、栃木県内唯一の国有風致保安林です。なお、那須街道沿いは日光国立公園にも指定されています。



赤松林の四季



「森林浴一万歩!?!の森」遊歩道

那須街道赤松林内には、約5.8kmの遊歩道が整備され、手軽に森林浴を楽しむことができます。

那須街道沿いのウッドチップ舗装区間1.5km(コース図A-E)は車いすの通行も可能です。那珂川に面した区間(コース図A-G)は、遠くにせせらぎを聞きながら静かな散策を楽しめます。

